

## 加工食品の物価及び生産・販売動向

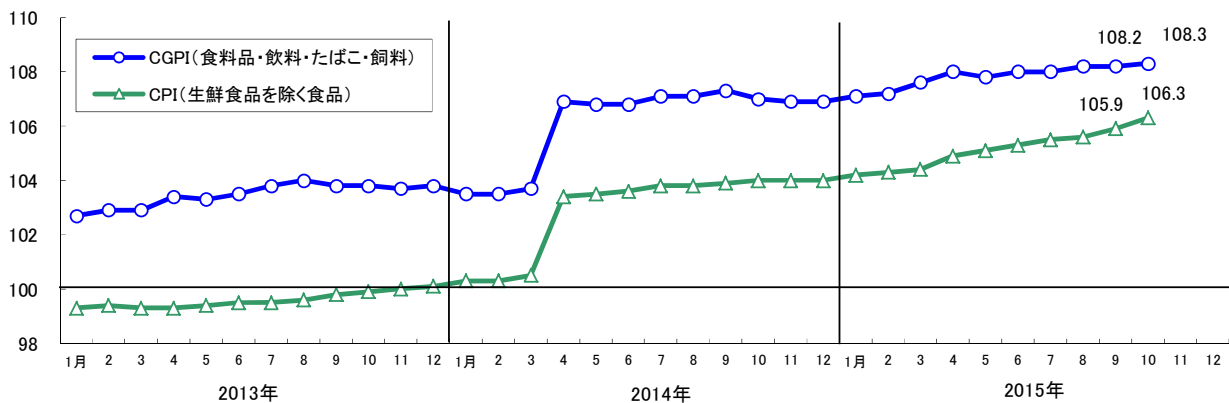
## 1 加工食品の企業物価及び消費者物価

## 企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、108.3と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同106.3で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2010年=100



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

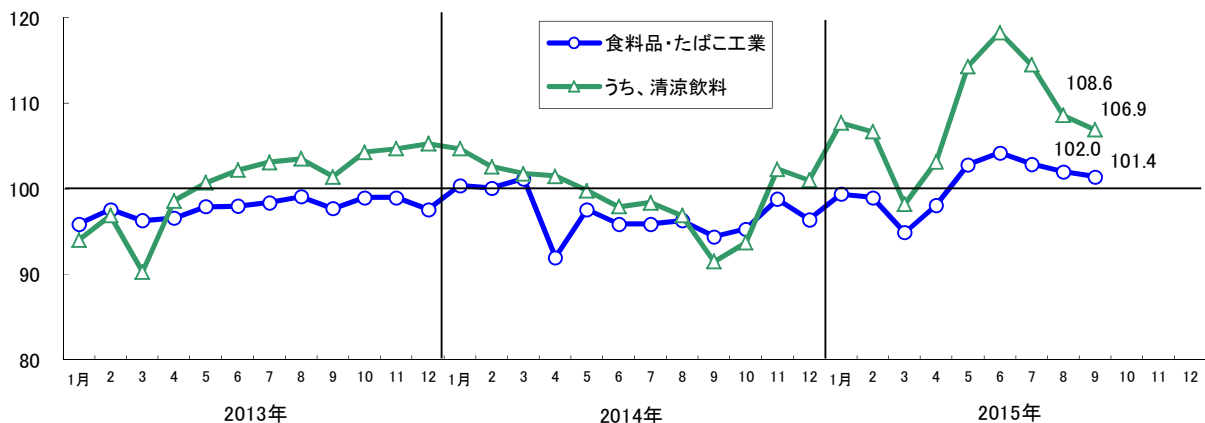
## 2 食品製造業の生産動向

## 食料品・たばこは前月比で前月並み、うち、清涼飲料は同わずかに低下

9月の食料品・たばこ工業の生産指数は、101.4で前月比▲0.6%と前月並みとなった。

うち、清涼飲料は108.6で前月比▲1.6%とわずかに低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



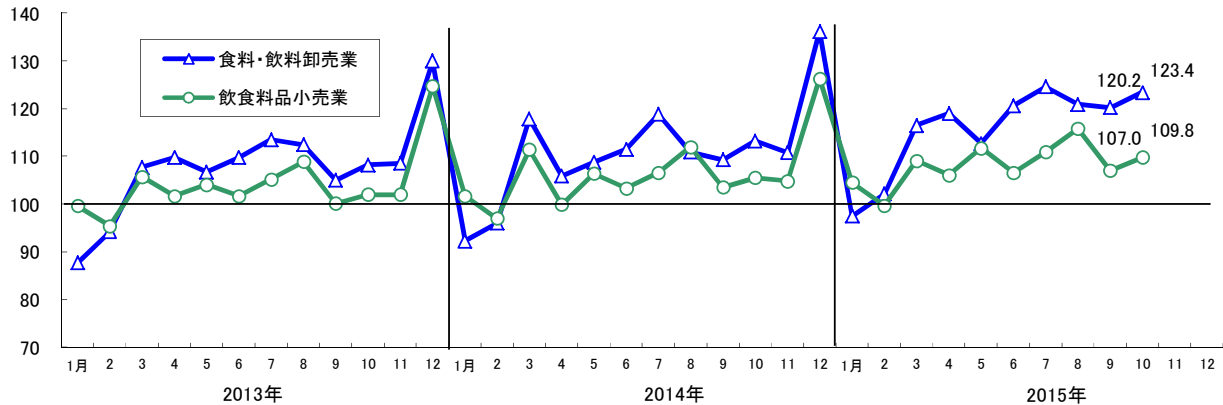
資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

### 3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度増加、小売業販売額は同やや増加

2015年10月の食料・飲料卸売業の販売額指数は123.4で対前年同月比9.0%とかなりの程度増加した。飲食料品小売業の販売額指数は109.8で同4.1%とやや増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



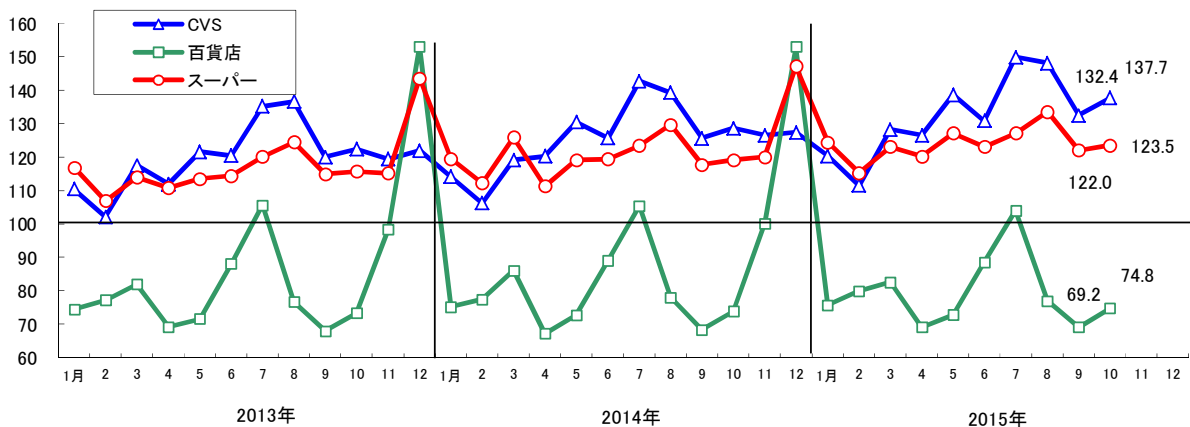
資料:経済産業省「商業販売統計」

### 4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でかなりの程度増加、スーパーは同やや増加、百貨店は同わずかに増加

2015年10月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは137.7で対前年同月比7.0%とかなりの程度増加、スーパーは123.5で前年同月比3.7%とやや増加、百貨店は74.8で前年同月比1.2%とわずかに増加で、コンビニエンスストア、スーパーは堅調に推移し、百貨店は前月に続いて増加となった。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。